

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

如月 月次祭挨拶

サルートン

皆様こんにちは

本日は如月の月次祭に参拝して頂き、また前田特派にお越し頂き誠にありがとうございます。

人型ご奉仕お疲れさまでした。

今年の節分大祭は好天気恵まれて、風無し、雨なし、雪なしで大祭に参拝させていただきました。

皆様のお陰で、お玉串三百四十九万円を二月九日に無事送金して納めさせて頂きました。

人型と型代また企業型代は祭典に十分間に合うようにお納めいたしました。

今日の大神様のお灯りは節分大祭でお下げになった御神火を使わせて頂いています。

ご神水は、月始祭で既に準備していただきますので宜しくお願いいたします。

直会后、令和七年度の決算報告を総代会にて審査していただきます。

また、今月の二十八日と三十一日は、東海サミットを名古屋分苑が主催して、グリーンパレス春日井で行います。

総代会が終わり次第、前田特派とサミットの打ち合わせを致します。

三月、月次祭の翌週の二十日に宣伝使・信徒研修会を開催いたします。

昨年は、宣伝使の辞令交付を受けた方達が十五名おられます。また、今年も宣伝使の推薦を受けられる方達もお見えになります。

研修会に参加して、宣伝使に拝命されたら直ぐにご奉仕できるように、また、宣伝使拝命された方もさらに研鑽して頂きたいと思っております。

宣伝使の推薦は、本部への書類提出期限が、三月末日までとなっておりますので、三月の月次祭には分苑に提出をお願いいたします。

春季大祭の執行委員長は津島支部で、副執行委員長は名古屋東支部の方が担当されます。

本部講師の方は、浅井 清高さまをお願いしています。

三月、月始祭終了後に大祭の打ち合わせを行いたいと思っております。

本日のご参拝誠にありがとうございました。

ございました。コーランダンコン



行事報告

●節分大祭

二月三日(火)

地方祭員 日比 達朗

永島 昶

祭員ご奉仕、お疲れさまでした。

●月始祭

二月七日(土)

参拝者 十八名

齋主 天野 芳幸

祭員 畠山 茂

祭員 永田 浩之

進行 小林 清人



齋主 飯田 和彦

祭員 小林 清人

祭員 日比 達朗

祭員 仙頭 志音

裏方 畠山 茂

祭員 飯田 直美

祭員 澤田 淳

祭員 長谷川美枝

祭員 伊藤恵美子

祭員 伊藤久仁男

前田特派をお迎えして、祭典後の東海サミット打ち合わせでアドバイスをいただいた。



●月次祭

二月十五日(日)

参拝者 五十一名





●金明水による祓い清め活動
 二月八日(日)午前、寒風吹きさび小雪が舞う中、今年も節分大祭でご下付されました金明水を港区の藤前干潟から伊勢湾に向かって海に注がせて頂きました。
 天津祝詞奏上後、ペットボトルの金明水を名古屋港と中川運河にも注がせて頂き地元
 の祓い清めと平安を祈念致しました。
 参加者二名



2月15日の総代会にて次のように決算が承認されました。

令和7年度 収支決算書

自 令和7年01月01日
 自 令和7年12月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
玉串料	2,633,700	祭務費	789,660
本部交付金	710,286	玉串費	360,000
分苑維持献金	1,299,850	教化費	438,351
雑収入	14,843	総務費	1,174,513
		維持費	868,764
		厚生費	284,300
		小計	3,915,588
		当期収支差額	743,091
合計	4,658,679	合計	4,658,679

行事予定

三月十五日(日)

月次祭 午前十時半より

尾張戸神社 遥拝祭

前期機関長会議・研修会

三月二十二日(日)

宣伝使研修会

四月四日(土)

月始祭 午後一時半より

忍び草

さわやか支部

宣伝使 菱川義英 昆古

享年 七十六歳

令和八年二月五日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

お知らせ

5月4日に天恩郷・万祥殿におきまして、教主古希慶祝梅松祭が執行され、あわせて慶祝行事が行われます。また、夜間には東光苑広場で、教主さまをお囲みし「園遊会」が開催されます。参加される方は、分苑掲示板にある参加人数確認用紙にご記入をお願いします。本部締め切り3月31日(火)

じいじの道草雑話

「まなびの場」

妹尾 正治

北野武さんの話から始めよう。彼は登校の途中で検便の日だったのを思い出し、急いで家に戻りマツチ箱に道端の犬のウンチを入れて持って行ったらしい、検査の結果やっぱり蟻虫がいっぱい見つかったので大量の虫下しを飲まされたと回想している。

又、先生にたたかれた事を母親に告げ口すると、母親は顔を真っ赤にして武を学校に連れて行き『先生！そんな悪いことをしたのならもっとたたいてやって下さい！』と言ったそう。

こんな話を聞くと、最近の子供達はみんないい子ぶって個性がなくなつた様に感じる。次はトットちゃん(黒柳徹子さん)の話である、彼女は小学校へ入学してすぐに退学させられた、それは彼女の奇想天外な行動と落ち着きのなさ(他の生徒の迷惑になるからであった)。

そしてトモエ学園に転向して小林宗作校長先生に出会うことになる。

トモエ学園は全校生徒五十人、教室は走らなくなつた電車、時間割はない、先生が黒板に書いた一日の課題をそれぞれが好き順番でやれば良い。トットちゃんのクラスには小兒麻痺で手足が自由な子や小さい時から身長が伸びない子、みんなの輪の中に溶け込めない子など個性がいっぱいの子たちだ。

小林校長先生はそんな一人の個性を大切に守り、決して枠にはめようとしなかった。

(じいじのお勧め「窓ぎわのトットちゃん」より)
 今の学校はやたら生徒を枠にはめたがり、枠から外れた子には減点をつけて評価している様に思える。

これではこの先、益々味気のない日本になつて行きそうで、じいじはチョツト淋しい。

